

四 褒 等 賞 狀

結 城 綿

仙臺市北二番丁

近 江 勘 兵 衛

氏元二日町に住み仙臺市の機業界に於ても稀れに見る二十年以來の古き歴史ある従業者にして近江屋と云へば直ちに機屋たることを知られたる程の有名なるものなりしが故ありて其家を弟に譲り今や現在の個所に居をトせり。

我が仙臺市の曾て機業熱の勃興するや一時是れに従事するもの宛も雨後の春筍に於けるが如く簇出したたりしと雖も多くは智識も無く經驗も無き徒輩の畢竟投機的に創めたるものなるを以て遂に内外の壓迫に堪へ得ず中道にして倒産若くは廢業するに至りしにも關はらず氏の獨り能く其營業を維持支掌して今日の久しきに及べる所以のものは是れ豈其堅忍不拔の精神と其企畫經營の宜しきを得たるに職由するものにあらずして何んぞや。

氏の製織品は優美と堅實なる點に於て著るしき特色を有し隨つて其江湖の需要頗る多く常に同業者の羨望を受け居りしが以て氏が斯業の技術の如何

に堪能なるかを知ると同時に其仙臺地織木綿の聲價に寄與したる功勞の決して尠少ならざるを推すべきにあらずや。

氏は又機業の改良發達に緊切なる關係を有する染色法の未だ幼稚にして其製織品の眞價を減殺するの甚たしきを慨し自ら進んで宮城縣囑託染工場を擔當し染色法の改善進歩に夙夜熱心努力しつゝ其結果の唯だに斯界に資益するのみならず延きて機業界に貢獻する所の多大なるや敢て謂ふなきのみ。

氏が製織品は從來各地の共進會品評會等に受賞の光榮を荷ひたること屢次なりしが今次の大正博覽會にも亦た結城綿を出陳して受賞の撰に入りたり以て氏が技術の如何をトすべきにあらずや。

四 褒 等 賞 狀

綿 木 綿

仙臺市新川原町

高 橋 竹 松



出ては國家を護るの干城となり入つては國力を増進するの實業家となる氏の如きは實に富國強兵の眞意義を實踐し居るものと謂ふべし。

氏は帝國軍人として明治三十七八年の日露戰役に滿韓の野に轉戦し殊功を樹て國民歡呼の裡に凱旋するや熟ら思ひらく我國は武方に於て名譽ある勝利を得一躍して世界列強の伍伴に入りたるも纏つて我が國力の内容を達觀すれば實に關心に堪へざるものあり斯くの如くにして推移せんか徒らに強兵の空名を存するのみにして終には破産の境遇に沈淪するの虞れなき能はず此時に際し苟も國家を憂ふるものは宜しく奮ふて國力の充實を圖らざるべからずと慨然直ちに身を機業界に投じ我が國民の衣服用として最も需要の饒多なる木綿織物の製

織に従事し日夜幾多の職工を督勵して専ら其糸質染色に注意して時代の嗜好に適應するものを市場に賣り出しければ忽ち世人の歡迎する處となりて其供給は何時も需要を充たし能はざる盛況にありと云ふ以て氏が製織品の眞價如何を知るに足るべきにあらずや。

現時の事業界には徒らに其製造を饒多にし世人を瞞着して一時の奇利を博せんとする者滔々たるにも關らず氏は獨り能く此汚流に染ます常に堅實を旨とし信用を重んじ専ら其品質の優美にして且つ實用的のものを製織するに努め居れるを以て氏の出品物は去る四十二年の勸業博覽會及び過般仙臺市に開催の物産共進會に於て各三等賞を授與せられしが今次の大正博覽會に於ても亦た受賞の撰に入るの光榮を荷ふに至れり以て氏が年來の素志たる國力充實の爲めに寄與すべく其産業上に如何に銳意熱心なるかを知るに餘りあるべきにあらずや

四 褒 等 賞 狀

干 匏

牡鹿郡女川村

遠藤喜三郎

凡ての製造物は其技術の巧拙によりて變化を來し如何に良質のものぞ雖も若し拙なれば劣悪なるものとなるは當然のことにして製造業者の苦心の存する處亦た一に斯にあり一般の製造業に於て既に然り特に況んや魚類の製造物の如き其技術の巧拙は直接吾人々類の健康上至大の關係を有するものたるに於てをや徒らに外觀の美にのみ腐心して原料の精選を怠り加工を苟もし而かも其赤誠を缺かんや如何に外觀は美なりと雖も終には市場より排斥せらるゝに至るは是れ必然の數なりと謂はざるべからず。

遠藤氏は同郡小原村の出身にして十餘年前當地に移住し熱心と誠意とを以て海產物製造業に従事し幾多同業者の間に介立して能く自己の經驗より成る技能を發揮し節類は勿論其他の製造物の之れを他に比して寧ろ一頭地を抜き居るもの是れ蓋し氏が二十年來の赤誠に胚胎せる賜にして隨つて其

製造物の何時も市場に於て嘖々好評を博し居ること亦た決して偶然にあらざるなり。

干匏は海外輸出品の一にして本縣の産額亦た敢て尠少にあらずこの故に縣當局に於ても是れが獎勵に勉め居る結果近來其製造に従事するもの多きを加へ來りたるも其技術の巧拙は市價に影響する處多きと共に其價格も他の海產物に比し高率なるを以て隨つて遂に是れを廢止するもの往々尠なからず而かも此間に在りて始終一貫能く斯業を繼續し來り且つ特に今日の如き發展を見るに至りたる氏の苦心經營は蓋し尋常一様にあらざりしこと固より言はずして知るべきなり。

四 褒 等 賞 狀

敷 布

仙臺市行人塚

佐藤しん



地方産業の發達進歩を期せんと欲せば男女の別なく各々其の器に應じて拮据努力せざるべからず漫に其職業の貴賤尊卑を云爲して徒食安座し居るもの多き地方は如何に有望なる事業の存在するに雖も決して進歩發達すること能はざるや勿論なり近き一例を示せば米澤織物の如きは必ずしも高貴なりと云ふこと能はざれども同地方人は男女の別なく擧つて是れに従事し居る結果其名唯だに全國に籍甚たるのみならず是れが爲めに地方の致富亦た他に一頭地を抜くに至れるにあらずや吾人は我が仙臺市に於ける各産業の進歩發達せざるもの其婦女子の多くが徒食安座敢て何等の爲す處なき確かに其一因なりと信ずるものなり此時に當り女史の如き夫君の業を援けて日夜精勵勉怠らざるの人あるを聞く眞に空谷の甕音たるの思ひ無き能はず

女史は佐藤某氏の妻女にして地方産業の不振に深く心を痛め今を去る十五年以前東八番丁に機業場を設け自ら之れが監督の任に膺りて手廣く營業し來りしが更に現在の地に移りてより以來輸入防退の一策として世人の日常欠くべからざる敷布を織り出し爾來幾多の苦心と研究とを重ねたる結果今日にては其品質に於ても將た其價格に於ても優に輸入品を壓倒するの優良品を製織せるに至れると云ふ凡そ一事一物と雖もこれを創始せんぞ欲せば尋常一様の努力を以ては成功するものにあらず見よ彼の久留米絣を發明せる井上げん子は如何に苦心研究に年所を費せしかを吾人は女史が一種特得の敷布を發明して斯界に貢獻したる功勞の是れを井上女史と比較して決して遜色なきことを敢て斷言して憚らざるものなり今回の大正博覽會に出品して受賞の撰に入るの光榮を得たるもの蓋し其功績を證して餘りありと謂ふべし

四 褒
等 賞
狀

鷄(淡色ブラマ)

仙臺市元櫓丁

佐々木ひさ



元櫓丁の佐々木庄左衛門氏と云へば仙臺市に其名を知られたる人にして各種の會社に關係したることも尠なからず殊に起業の才に富みたる人にして而かも其企畫に成れる事業に依りて今に成功し居る人々も敢て尠ならずと傳へらる氏は斯くの如く事業に熱心なると共に養鷄にも多大の趣味を有し特にレクホンブリモースロットクブラマなどは其尤も愛育せるものにして明治四十一年以來全國家禽品評會を初めとし各地に開催せる品評會共進會等に出陳して優賞を得たること十數回に及びと云ふひさ子女史は夫君を助けて能く内顧の憂なからしめ其本業たる質屋は女史自ら營業の衝に當り入質者をして世上屢々耳にするが如き怨嗟の聲無からしめたるは女史が手腕の決して凡ならざるを知るべくされば一家も驚

々然として世間より羨賞せられつゝありしが好事魔多く庄左衛門氏は今春死去したりしを以て女史は遂に遺業を繼ぎて今日に至れるなり現時の社會は外觀の美を街ふに急に於て苟くも衣食幾かに足るものは多く優遊晏居空しく貴重なる光陰を徒過するもの多く特に我が東北の如きは此の弊甚だしくして口に東北振興を切に唱導しあるも未だ其振興を實現する能はざるは蓋し是れが爲めならずんばあらず此時に當り女史の如く衣食足るの身を以て獨り能く忙中閑を割き養鷄業に従事し良成績を擧げ居るもの一は亡夫の志を空ふせざる貞節の一念より出でたるに相違なきも又他面には殖産興業の忽諾にすべからざるを深く感得すると共に其勞働の貴重なるを他に知らしめんが爲其範を示さんとせるに外ならざること蓋し知るべきなり今回の大正博覽會に女史の出陳したる鷄の受賞の撰に入れるもの豈それ偶然ならんや。

大正博覽會
宮城縣
受賞者紀念帖第壹輯終

河北新報

賜東久邇宮殿下御假御殿御用之命光榮

TRADE MARK



仙臺市南町通南光院丁角
石川電機商會
電話四一〇五一番

電燈電信電話
諸器械器具材料
一式

不許
複製

大正三年十二月廿四日印刷
大正三年十二月廿八日發行

發行所 東北評論社

定價金壹圓五拾錢

著述兼發行人者

仙臺市茂市ヶ坂五番地

遠谷富次郎

印刷者

仙臺市南町四十二番地

股野七郎

印刷所

仙臺市南町四十二番地

東北活版社

電話六〇一番

石材部

性質 堅牢にして重量比較的軽く、化學的成分極めて宜しきを得たるを以て加工容易なり。

特色 長時間猛烈なる火焔中にあるも焼けず、嚴寒に遭ふも凍らず、而も雨水の浸潤する虞なく、風雨の爲め石面の外觀を損することなし。

用途 商店、倉庫、石門、石橋、井桁、井圍、風呂檜、壁石、階段、土臺石、敷石、便所（洗面機械、洗面器）の裝飾、金庫、燈籠、手水鉢。

種數 弊社は秋保石の外、上積用として耐火煉瓦、磁器、硝子、而も價格低廉なる炭瓦、産瀧澤石及化粧用石材として外觀極めて美麗、優等なる白木澤石を販賣す。

請負 弊社は石材建築及石材土工一切の請負をなし、常願の技術熟練なる職工を派し、御得意の満足な計るべし。

注文 本社は市内各所の置場及び販賣店に御用命あれば社員直ちに登上海津御相談すべし。

秋保石材軌道株式會社

本社 仙臺市南鍛冶町（電話五七番）

軌道部

停車場 長町、西多賀（鉤取、茂庭、赤石、秋保）

途中 西多賀停車場には多賀神社あり、鉤取には大白山（生出嶽）に八幡神社あり、赤石停車場よりは鹿田方面に趣くに便に、秋保停車場は有名なる秋保温泉のある處にして大瀧不動及鷲司岩等天下の奇勝を擁する唯一の軌道なり。

營業目 旅客及貨物等鐵道一般の業務

時間 毎日三回往復、片道金壹拾大錢



株式會社 七十七銀行

仙臺市大町四丁目四拾四番地

電話長一（七四〇）
電話 七七又、七

頭取 八木久兵衛
支配人 中村梅三

支店 東京（電話漢花一二）
古川（電話五〇）
石巻（電話三〇）
河原町（電話三三）
志津川町
涌谷町
飯ノ川町
原中
新田町

出張所 大河原町 佐沼町
岩出山町 築館町
小牛田町 増田町
波ノ波町

派出所 派

資本金 壹百萬圓

株式會社 宮城縣農工銀行

積立金 參拾貳萬六千圓

資本金 貳百萬圓

仙臺市大町四丁目百五十五番地



株式會社 宮城商業銀行

電話 七三七番
七二六番

諸積立金 貳拾壹萬六千圓

仙臺市名掛町五十四番地



株式會社 宮城貯蓄銀行

(電話 二五八番)



株式會社 東北實業銀行

仙臺市名掛町四十四番地

長電四七〇一〇八三
電略(ホト)

仙臺市大町四丁目百七拾六番地

株式會社 經國銀行

仙臺派出所

仙臺市東五番丁

倉庫部 電話 二二一番

仙臺驛前

運送部 電話 八六一番
振替口座 二九五三

宮城縣石濱港

☆ 株式會社 白石廣造商會
電話(シラ)又(シ)

宮城縣鹽釜港

鹽釜支店 電話八番 一五番
振替口座 三二二九

山形縣東村山郡宮澤村字市野野

最上 白石鑛業部



東京▲三鱗合資會社 引取店

岩井運送店

仙臺市南町通
電話 一六一番

337
202

一、一國の財政を向上せしむるには先づ一家の經濟を向上せしめざる可からず
一、一家の經濟を向上せしむるには先づ本行の貯金を勵行せらるべし
一、産業の發展を計るには低利の資金を得るにあり
一、低利の資本を得んとせば先づ本行の貯金を開始せらるべし
一、本行の貯金は一箇月金七拾五錢より出來且集金人を差上ます
仙臺市大町四丁目



株式會社 本所銀行代理店
電話九七一番

本社は 明治十四年七月開業せり
本社は 積立金一千五百萬圓を有せり
本社は 營業三十四年最も經驗に富めり
本社は 常に財政を整理し保險金の支拂速なり
仙臺市大町五丁目

明治生命保險株式會社仙臺支店
電話四〇二

御履物

万

よろつや事

萬清老鋪

電話八二六番
國分町四丁目

337

202

終